

5月22日(日)開催 第52回越前大野名水マラソン

水のまち大野市が東ティモールの水環境整備のため 参加者の走行距離に応じた支援をおこないます

～ 1km走ると 10円を水支援するユニークな取り組み ～

「水」による産業創出と魅力的なまちづくりをめざす福井県大野市(市長：岡田高大 以下、大野市)では、2105年5月より、人口減少対策プロジェクトの一つとして、まちの“財産”であり“アイデンティティ”でもある「水」をテーマとした「Carrying Water Project (キャリング ウォーター プロジェクト) *以下、CWP」を始動し、地方創生に向けたブランディング活動を展開しています。

本年5月22日(日)に開催する「第52回越前大野名水マラソン」において、大会実行委員会からCWPの一環として、参加者が1km走ると10円を、東ティモールの水環境整備の支援のため寄付をいただきます。

本大会は今年52回目を数える市民マラソンで、全国各地からも多くの人々が参加する大変好評いただいている大会です。そのような大会を通じて、「水のまち、大野」を発信するとともに、今年からは参加者からのドネーションも募ることで「おいしい水を届けるマラソン」であるとともに、チャリティマラソンとして、世界と大野を結んでいきます。

<http://www.carrying-water-project.jp/run/index.html>



Carrying Water Project
×
越前大野名水マラソン2016

*「Carrying Water Project」(キャリングウォータープロジェクト)

～水で未来を拓くまちから、水環境に恵まれない地域に支援を～

大野市は、2015年5月より人口減少対策プロジェクトの一つとして、まちの“財産”であり“アイデンティティ”でもある「水」をテーマとした「Carrying Water Project (キャリング ウォーター プロジェクト)」を始動し、地方創生に向けたブランディング活動を展開しています。現在その一環として、公益財団法人 日本ユニセフ協会を通じて、アジアで最も「清潔で安全な水の確保」に苦しむ国である東ティモールへの支援を決定しました。これは、恵まれた水環境の中で暮らしてきた大野市が、「水」への感謝の気持ちを表す行動で、支援国と用途を東ティモールの水支援事業に限定した複数年(3ヵ年)の支援です。

走れば走るほど、世界中に安全な水環境が広がっていく。

大野市は、水に恵まれ、水と共に文化を育んできたまちです。水の流れる音を聞き、水をはった田んぼのわきを抜け、名水のまちを楽しみながら、ゴールを目指す「名水マラソン」。このマラソンを通じて、水に恵まれた大野のまちから、水に恵まれない国の人々のためにできることがあります。越前大野名水マラソンを走ると、1km ごとに 10 円が、水支援のために寄付され、水道建設など水環境を良くするための支援に使われます。今年の支援先は東ティモール民主共和国。水道が未整備なところが多く、子どもたちは家から水汲み場まで何キロもある道のりを、毎日通います。水を汲むのが大変で、学校にも行けない、友達とも遊べない子供たちのために、皆さんの「走り」を提供いただきます。

「大野を走ると、世界に水の恵みが広がっていく」という市民マラソンを目指して、第52回越前大野名水マラソンがいよいよ開催されます。

会場ではCWP特別フォトブースが登場するなど、CWP活動の訴求を展開します。

ランナーの皆さんにドネーションの仕組みを知ってもらえるように、マラソンの前後に様々な仕掛けを用意しています。

ランナーがゴールした後に記念撮影できるフォトブースでは、それぞれの走行距離と寄付額が分かるビジュアルになっており、ネット経由で画像ダウンロードをすることで、SNSでのシェアが可能となります。そのほか、給水用紙コップのデザインや、運営スタッフのTシャツなどを通じてCWPを訴求していきます。



(フォトブース画像イメージ)

▼「第52回越前大野名水マラソン」開催概要

- 名 称 : 第52回越前大野名水マラソン
開 催 日 : 5月22日(日) 開会式8:00~/スタート9:10~ (雨天決行)
開催場所 : 大野市内(スタート・ゴールはいずれの種目も大野市役所)
種 目 : ハーフ・10km・5km・3km・2km・親子
主 催 : 大野市・大野市教育委員会・大野市体育協会・中日新聞・日刊県民福井
主 管 : 大野市陸上競技協会
後 援 : 一般社団法人福井陸上競技協会・JAテラル越前・NHK福井放送局・FBC福井放送・福井テレビ・FM福井・ショッピングモールヴィオ
協 力 : 大野警察署・大野市交通指導員会・大野市スポーツ推進委員会・
公益社団法人 福井県柔道整復師会奥越支部・みんスポクラブ・Runners Chip
U R L : <http://www.city.ono.fukui.jp/page/sportssinko/meisuirun52.html>



第51回越前大野名水マラソン(2015年)の様子

◆公益財団法人日本ユニセフ協会について

190以上の国と地域で子どものために活動するユニセフ(国連児童基金)の日本における国内委員会。日本においてユニセフを代表するユニセフ協会(国内委員会)として、1955年に財団法人として設立され、(2011年に公益財団法人へ移行認定)、民間のユニセフ募金を集めるほか、ユニセフの世界での活動や世界の子どもたちについての広報、そして、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。各国のユニセフ協会(国内委員会)は、ユニセフと「協力協定」と呼ばれる公式文書を締結しており、同協定は「ユニセフ協会(国内委員会)は各国の市民社会においてユニセフの利益を代表し、かつ促進する、ユニセフの唯一のパートナーである」と定めています。

名称：公益財団法人 日本ユニセフ協会 the Japan Committee for UNICEF

所在地：〒108-8607 東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス

代表者：会長 赤松 良子

設立：1955年6月9日(2011年4月1日 公益財団法人移行)

◆東ティモールについて

[国名] 東ティモール民主共和国(The Democratic Republic of Timor-Leste)

[面積] 約1万4,900平方キロメートル

(東京、千葉、埼玉、神奈川の合計面積とほぼ同じ大きさ)

[人口] 約121.2万人(2014年、出典：世界銀行)

[首都] デイリ

[民族] テトゥン族等大半がメラネシア系。その他マレー系、中華系等、ポルトガル系を主体とする欧州人及びその混血等。

[言語] 国語は、テトゥン語及びポルトガル語。実用語に、インドネシア語及び英語。その他多数の部族語が使用されています。

[宗教] キリスト教99.1%(大半がカトリック)、イスラム教0.79%

[概要]

インドネシア東部に位置するティモール島の東半分位置する島国。

16世紀前半、ポルトガルに始まり、オランダ、日本、ポルトガル、インドネシアが支配。1999年には分離独立の是非を問う住民投票が行われ、住民の約8割が独立を選びましたが、その後、独立反対派の武装勢力により治安が悪化。2002年によりやく独立に至りました。以後も治安の悪化を繰り返しながらも、2009年を「インフラの年」と位置づけ、政府による国作りが進んでいますが、今もなお、約37%の国民が1日1.25ドル以下で生活する厳しい状況が続いています。特に農村部では保健や教育、水と衛生などの基本的なサービスが未だに十分に行き届いていません。

[データ]

乳児(1歳未満児)死亡率：出生1,000人あたり46人／2013年

5歳未満児死亡率：出生1,000人あたり55人／2013年(日本は3人)

改善された水源を利用する人の比率：95%(都市部)/61%(農村部)/70%(全国)／2012年

改善された衛生施設を利用する人の比率：69%(都市部)/27%(農村部)/39%(全国)／2012年



◆福井県大野市

[市長] 岡田高大（おかだ たかお）

[人口] 3万4,788人（住民基本台帳人口／2016年1月1日）

[面積] 872.43km²（福井県最大）

[隣接市]

福井県／福井市、勝山市、今立郡池田町

石川県／白山市

岐阜県／高山市、郡上市、関市、本巣市、揖斐郡揖斐川町

[概要]

福井県内の市町の中では最大の広さを持ち、県面積のおよそ5分の1を占める。戦国時代に築かれた越前大野城は、現在は「天空の城」として有名で、そのふもとに広がる基盤目状のまち並みは、かつての城下町の面影を強く残し、「北陸の小京都」と呼ばれています。

「名水百選」に選ばれた御清水（おしょうず）や「平成の名水百選」に選ばれた本願清水など、まちの至るところで湧く清水は、城下町とともに代々守り伝えられてきた生活文化です。

